今までの取り組み・これからの課題

協働のまちづくり 通信簿

市では、平成23年度から「市協働のまちづくり推進計画」に基づき、市民・地縁による団体・市民活動団体・事業者と市によるまちづくりを進めています。

市協働のまちづくり推進委員会から本計画の取り組み状況についての意見のとりまとめがありましたので、主な内容をお知らせします。

問 市民活動推進課市民協働推進班 ☎(93)1117

環境づくり

環境づくりにおいては、活動拠点の整備と中間支援機能の充実、財政的援助と活動資金の確保、そして地域におけるネットワークの仕組みづくりが重要と考えます。

▼市民活動サポートセンターの創設【項番⑬】

「市民活動サポートセンター検討委員会」より提出された提言書にある次の7つの機能を備えるために、優先順位を検討し、一つひとつ実行していくことが必要です。

7つの機能

①相談対応力
②調査・情報収集力
③情報の編集・発信力
④コーディネート・ネットワーキング力
⑤資源の掘り起こし・提供力
⑥人材育成力
⑦政策提言力

▼(仮称)活動支援アドバイザーの設置及び派遣【項番㉗】

サポートセンターに常駐するアドバイザーの人材発掘と育成は重要であり、人材育成に関して、早めに採用し、事前研修を行うことが必要です。

▼市民活動ブース【項番①】

サポートセンターの開設当初から市民が集まる場として機能するために、ブース活用促進を図ってほしいです。

▼市民活動支援補助金【項番③】

補助金期間が終了した団体の自立に向け、団体が市民活動事業を継続させていけるような基金をつくるべきです。

▼(仮称)市民活動支援基金の創設【項番㉘】

まちづくりへの市民参加のきっかけとなる基金は、金額の多寡よりも、広く市民から協力が得られるような運用がなされるべきです。

目的と活用先について、市民に見えるものとすることが大切です。

▼地域づくり協議会の創設【項番⑭】

地域内のネットワーク形成は、実態把握から始めなければならないため、ネットワークの効果的な筋道を地域とともに考え、切れ目無く息の長い働きかけが求められます。

担い手づくり

地域コミュニティや市民活動を活性化させるには、担い手づくりが非常に重要です。

▼協働のまちづくり講座の開催【項番④】

世代別にテーマを設定することで、これからの力溢れる若い世代の担い手づくりに繋がる点が評価されます。

親子で参加できる日時と内容であれば、働き盛り世代の参加が期待できると思います。

▼市民活動表彰制度の創設【項番㉕】

市民から市民活動者へ「ありがとう」という感謝を伝えられる市民による市民のための制度ができることは「目に見える制度」として市民の協働に対する理解と活動者のやりがいに結びつくものとして大いに期待します。

▼ボランティア貯金の研究【項番㉖】

ボランティアに参加した市民にポイントを付与し、貯まったポイントは自身が必要なときに使える制度となれば、市民の協働への参加意識が高揚し、その効果が期待できるため、早期実施に向けた重要課題と考えます。

▼リーダー育成講習会の実施【項番㉙】

平成27年度実施予定のリーダー育成講習会は、前期実行計画の担い手づくりの集大成であり、重要テーマであると思います。修了者がノウハウや身に付けた知識のレベルを認められた上で、修了後も市内で継続して活動できる仕組みを検討してほしいです。

情報の提供・共有

情報の提供・共有は、協働を進める上で基本原則となる非常に大切な要素です。

▼協働専用ホームページの開設【項番㉔】

サポートセンターの開設に合わせて設ける協働専用ホームページは、次期5か年の後期実行計画でも重要な位置付けとなる事業と考えます。

単なるホームページの開設に留まらず、双方向性をもたせた運用を協働事業の核として育てる検討も必要です。

▼地域フォーラムの開催【項番⑧】

実施報告だけでなく、地域フォーラム内で地元から提案された取り組みの方向性について、実行されたか否かの検証やフォローアップも必要と考えます。

また、小学校区単位より、より身近な区・自治会単位での開催であれば参加率も上がり、地域課題の解決の糸口が見えてくるかもしれません。

▼市民活動フェスタの開催【項番⑱】

市民に広く協働の取り組みをPRする場として開催している市民活動フェスタは、年々の発展を心強く思います。

たくさんの市民が気軽に来ることができ、子どもから大人まで楽しみながら市民活動に触れられるとても良い機会です。高校生や小学生の運営参加は、次世代の担い手づくりの一つであり、来場する子どもにも市民活動に関心を持ってもらえることが期待できるイベントであると思います。

協働のまちづくり推進事業の一覧

協働のまちづくりの年度ごとに予定している事業が一覧でわかります。
※本文に記述がある内容は、各項番とリンクしています。

実施年度	項番	事業名	年次計画（年度） 平成23	平成24	平成25	平成26	平成27
平成23	①	市民活動ブースの設置	試行	検討	－	－	完了
	②	(仮称) 協働のまちづくり推進課の設置	実施	－	－	－	－
	③	(仮称) 市民活動支援補助金の創設	実施	－	－		－
	④	協働のまちづくりの講座の開設	研究・試行	試行	実施	－	－
	⑤	市民活動の実態調査	実施			実施	
	⑥	協働ＰＲリーフレットの作成	実施		実施		実施
	⑦	市広報紙及びホームページの充実	一部実施	－	－	実施	－
	⑧	地域フォーラムの開催	実施	－	－	－	－
	⑨	とみさとの情報コーナーの創設	実施	－	－	－	－
	⑩	パブリックコメント制度の周知	実施	－	－	－	－
	⑪	審議会等への公募委員による市民参画の推進	実施	－	－	－	－
	⑫	市政への参画機会の拡大	実施	－	－	－	－
平成24	⑬	市民活動サポートセンターの創設	研究	⇒	準備委員会設置	検討	実施
	⑭	地域づくり協議会の検討	検討	モデル地区	⇒	⇒	⇒
	⑮	(仮称) 協働スイカ塾の開設	検討	実施	⇒	⇒	⇒
	⑯	協働人材バンクの創設	研究	実施	⇒	⇒	⇒
	⑰	とみさとふれあい講座の拡充	検討	実施	⇒	⇒	⇒
	⑱	市民活動発表会の開催	検討	実施	⇒	⇒	⇒
	⑲	市民提案機会の拡充	検討	実施	⇒	⇒	⇒
	⑳	協働のまちづくりモデル事業の実施	検討	実施	⇒	⇒	⇒
	㉑	職員研修の実施	検討	実施	⇒	⇒	⇒
平成25	㉒	市民活動保険の導入	検討	⇒	実施	⇒	⇒
	㉓	活動事例集の作成		検討	実施	⇒	⇒
	㉔	協働専用ホームページの開設		検討	実施	⇒	⇒
平成26	㉕	市民活動表彰の創設		研究	検討	実施	⇒
	㉖	ボランティア貯金の研究				研究	⇒
平成27	㉗	活動支援アドバイザーの設置及び派遣		研究	検討	⇒	実施
	㉘	(仮称) 市民活動支援基金の創設			検討	⇒	実施
	㉙	リーダー育成講習会の実施		検討	⇒	⇒	実施

市政への参画

市民に関心を持ってまちづくりに参加してもらえる更なる工夫が必要です。

▼パブリックコメント制度の周知【項番⑩】

講座などの場でアンケートをとる、または直接意見を伺う面接方式を行うなど、多くの市民の声を収集する方法を検討していただきたいです。

そして、実施する際には可能な限り市民に分かりやすく親しみやすいように、表現を工夫をすべきです。

市の体制について

▼市民活動推進課としての役割【項番②】

庁内での協働推進体制の動きが当委員会に情報提供され、検証されることが大切であると考えます。庁内の連携を市民に伝え、市民にも協働を訴えていただきたいと思います。

▼職員研修の実施【項番㉑】

研修により、職員の意識がどう変化しているのか、業務にどう活かそうとしているのか、活かしたのか、研修の成果についても念頭に置き実施されることを求めます。

協働のまちづくり推進委員の在り方

当委員で推進計画の項目に沿った役割分担を決め、市民活動推進課職員と連携し合い、共に考えていく仕組みをつくり、様々な面で市と共同かつ補完的な役割も含め関わっていく必要があると感じています。